

南都銀行「創立70周年記念事業」、明日香村で植樹祭開催

南都銀行は、平成16年6月1日に創立70周年を迎えるに先立ち、「創立70周年記念事業」の一つとして、4月10日、明日香村平田（高松塚古墳の近く）の県有地で植樹祭を行った。美しい奈良の恵まれた環境を後世に引き継ぐため、歴史的景観の保全や緑化を積極的に取り組もうと企画したもの。

この日の「植樹祭」には、橋本弘隆・奈良県出納長、関義清・明日香村村長、阪本道隆・南都銀行会長など約100人が出席。同行の西口廣宗頭取が「古代史の舞台・明日香村の歴史的風土の保全に役立ってほしい」と挨拶。関村長は、「この場所は観光客が歩く場所で荒地になっており気になっていたが、整備して頂き感謝する」と謝辞を述べられた。

なお、前週の4月3日、ボランティアの行員約200人がスコップを手にして、万葉集に歌われたウメ、

ヤマザクラ、アジサイ、スイセンなど約30種650本の植物を2,700㎡の丘に植えた。また、四季を通じて花が楽しめるよう、休憩用のベンチも設置された。（上田）。



植樹される明日香村関村長（向かって左）と
南都銀行西口頭取（向かって右）